

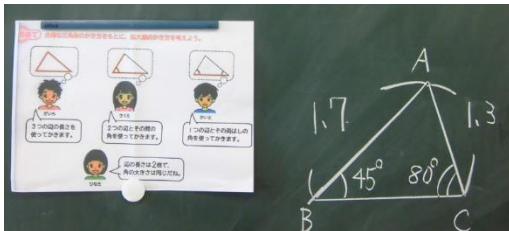
「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



活用事例



概 要	
学 校 名	市川市立第六中学校
活用方法	<p>①小中連携を意識した小学校の学習内容の復習（見いだす） 小学校で使用した教科書を用いたり、指導者用デジタル教科書を使ったりして、小学校の学習内容の復習を適宜行っている。</p> <p>②教え合い、学び合い活動を通しての協働的な学び（広げ深める） 生徒がミニ先生となり、ペアやグループ等での教え合い、学び合い活動を積極的に取り入れている。</p> <p>③振り返りシートの活用（まとめあげる、見いだす） 振り返りシートを毎時間、授業の終わりに行っている。</p>
成 果 等	<p>①小学校の学習内容を復習することで、既習事項の確認がスムーズにでき、本時の学習課題に向けて新たな問いの発見につながった。</p> <p>②教えられる生徒の理解につながるとともに、わかりやすく教えることを意識することで、教える生徒の理解もより深まった。</p> <p>③振り返りシートを活用することで、授業で分かったところ、疑問に思ったところ、新たに発見したこと等を自分の言葉でまとめることができるようになった。さらに、新たな問いの発見にもつながった。</p>



小学校での既習事項と関連がある単元について、事前に教材研究を行い、効果的に活用している。

数学 学習の記録 NO. _____		1年 組 番 氏名(_____)			
月日	学習のめあて	授業の取り組み	理解度	授業を振り返って	確認
/		A B C	A B C		
/		A B C	A B C		
/		A B C	A B C		
/		A B C	A B C		
/		A B C	A B C		

毎回の授業後に集め、教員がコメントを書いて返却している。生徒の理解度を把握したり、疑問に答えたりすることができる。